

■ 『山月記』 言語活動 1 評価の観点

評価規準	評価基準		
	A【十分満足】	B【おおむね満足】	C【改善の手立て】
1 知識・技能			
言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 [(1)ア]	李徴が虎になる過程を追う作業を通して、言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを十分に理解することができている。	李徴が虎になる過程を追う作業を通して、言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることをおおむね理解することができている。	李徴の心情を読み解く作業を通して、言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを実感させる。
2 思考・判断・表現			
「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 [B(1)ア]	作品の構成と展開を踏まえ、人間が虎になるという設定がもたらす効果について、十分に理解を深めることができている。	作品の構成と展開を踏まえ、人間が虎になるという設定がもたらす効果について、おおむね理解することができている。	李徴が虎になる過程を追い、その時々の李徴の心情を整理させる。
3 主体的に学習に取り組む態度			
人間が虎になるという設定の効果について粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。	主体性をもって粘り強く根拠立てて物語設定の考察に取り組んでいる。	学習課題を踏まえて粘り強く物語設定の考察に取り組んでいる。	これまでの学習を振り返って課題に取り組むように促す。

■ 『山月記』 言語活動 2 評価の観点

評価規準	評価基準		
	A【十分満足】	B【おおむね満足】	C【改善の手立て】
1 知識・技能			
言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 [(1)ア]	袁傜の人物像を把握する作業を通して、言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを十分に理解することができている。	袁傜の人物像を把握する作業を通して、言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることをおおむね理解することができている。	李徴と袁傜に関する描写を読み解く作業を通して、言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを実感させる。
2 思考・判断・表現			

「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。〔B(1)イ〕	袁倬の人物像を正確に把握し、作品に袁倬が登場することによる効果を十分に理解して話し合いに参加することができている。	作品に袁倬が登場することによる効果をおおむね理解し、矛盾なく整理して話し合いに参加することができている。	袁倬の発言や袁倬と李徴の比較などを通して、袁倬の人物像を再確認させる。
3 主体的に学習に取り組む態度			
作品に袁倬が登場することの効果について粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	率先して周囲と協調しながら根拠立てて話し合いに取り組んでいる。	学習課題を踏まえて周囲と協調しながら話し合いに取り組んでいる。	周囲の考えを参考にしながら話し合いに参加するように助言する。

■「探究の扉 人虎伝」言語活動1 評価の観点

評価規準	評価基準		
	A【十分満足】	B【おおむね満足】	C【改善の手立て】
1 知識・技能			
文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。〔(2)ア〕	「山月記」と「人虎伝」の関係性を考察することで、古典や外国の文化を享受して形成された我が国の言語文化の独自の性格やその価値を十分に理解することができている。	「山月記」と「人虎伝」の関係性を知ること、古典や外国の文化を享受して形成された我が国の言語文化の独自の性格やその価値をおおむね理解することができている。	「山月記」の成立背景を調べさせる。
2 思考・判断・表現			
「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。〔B(1)オ〕	「山月記」と「人虎伝」における描写の違いを丁寧に考察することにより、「山月記」の解釈を十分に深めることができている。	「山月記」と「人虎伝」における描写の違いを考察することにより、「山月記」の解釈を深めることができている。	「山月記」と「人虎伝」で異なる箇所を再確認させる。
3 主体的に学習に取り組む態度			
粘り強く『山月記』と『人虎伝』の差異を見極め、学習課題に沿って考察しようとしている。	主体性をもって粘り強く考察している。	学習課題を踏まえて粘り強く考察している。	これまでの学習を振り返って課題に取り組むように促す。